

平成 26 年度第 5 回第 2 次山縣市総合計画策定審議会 会議録

日時：平成 26 年 11 月 21 日（金）午後 3 時 00 分～

場所：山縣市役所 201 会議室

出席者：委員（敬称略）丹羽 英之、藤田 昌子、大野 朝義、平田 久美子、大沢 登美子、
杉山 正樹、吉田 茂広、佐野 恵津子、江崎 由里香

：事務局 久保田 企画財政課長
石神 企画財政課主幹
梅田 企画財政課主任
ジャパンインターナショナル総合研究所

欠席者： 古田 登

○次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
 - 1) 基本構想について
人口フレーム、将来像、その他の修正箇所
 - 2) 第 1 次計画の評価について
 - 3) 基本計画について
中間報告と意見交換
 - 4) その他
今後のスケジュール等
4. 閉会

1. 開会

【課長】

ただいまから「第 5 回第 2 次山縣市総合計画策定審議会」を始めさせていただきます。まずは会長からあいさつをお願いしたい。

2. 会長あいさつ

【会長】

積極的なご意見で議論が進むことを期待する。

3. 議事

【会長】

まずは「1 基本構想について」の説明をお願いしたい。

【課長】

一昨日、副市長を委員長とする総合計画策定委員会を行った。十分な議論はできなかったが、基本構想について再度市役所内の執行部としてのコンセンサスを詰めた資料を本日配布するに至った。以前お渡ししたものと特に大きく変えてはいない。本日配布した資料の22ページ以降がポイントとなる。基本構想の重要なものの一つとして「基本理念」がある。前回も皆さんにご議論いただいたが、もう少し絞り込みをしたいということで候補として3つほど挙げている。

第1次総合計画は基本理念と将来的な姿を目指す形であった。しかし、最近では基本理念と将来像を別々に定めている市町が多いこともあり、山県市も第2次は「基本理念」と「めざす将来の姿」を分けて作成した。基本理念と将来像をどのようにするかについてご意見をいただきたい。

24、25ページについて、第2章の人口フレームの第1節が「基本指標」、28ページに第3章「土地利用構想」とある。問題は人口フレーム、定住人口の目標人口は国勢調査結果をもとに導き出した推計値に5%をプラスしたものを目標人口に設定している。いろいろな考え方があがるが推計値プラス1,000人を目標にするのか、減少していくものに対して5%を抑制する形を取った方が良いのかに対して、ご意見をいただきたい。

「活動人口」について、前回は指標を定めるためにもアンケート調査を実施したらどうかというご意見があった。地域活動に参加したことがある人の割合は65.9%ということであった。年代別にみると60代が75.5%と最も高かったため、事務局側としてはこの数値を目標値として設定した。

「交流人口」は宿泊客数、市外から訪れた方が市内でどれだけ消費したかというものである。客観的なデータがなく、通勤・通学客やグリーンプラザみやまの施設利用者などの数字を反映させていくことになる。

「土地利用構想」について、市内では農業振興地域の在り方について都市計画の見直しと連動させる形で今年度、来年度と調査中である。前回なかった「商業地域」も新たに追記している。地区拠点と中心的市街地との連携についても追記している。

30、31ページの「分野別施策の基本方針」について、推進の施策についての変更はない。基本計画もこれを元に新たな第2次総合計画に向けての施策を各課で詰めている段階である。先ほどの「基本理念」に関連するが、基本目標、基本計画、推進施策で、この中から重点施策としてピックアップする方法もあるが、順序を検討していきたい。各項目の名前についても新たな基本計画で推進計画を検討していく中で変更する場合もある。

事務局の方針としては、総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の3つを考えている。従

来の地方自治法では基本構想の議決を取ることがルールであった。議会基本条例では総合計画及び基本構想という表記になっている。このあたりを議会と詰め、基本構想を3月の議会に上程したいと考えている。そのために議会開会に先立ち、基本構想部分を議会に配布したい。本日の審議を踏まえ議会に目を通していただき、年明けにはパブリックコメントで市民からの意見をいただきたいと思っている。今月下旬に議会資料として提供できるよう、本日ご意見をいただけるようお願いしたい。

【事務局】

〈事務局より構想の素案についての改正点の説明〉

【会長】

22 ページについて、議論いただきたいと思う。A、B、C案とある。それと候補案との関連はどうなっているのか。

【事務局】

候補案については、前回の議論で5つ出ていたものを、3つに絞ったものである。

【ジャパン総研】

基本理念と将来像を検討する位置づけが、しっかりと共有できないまま進められ、混乱を来してしまったようで反省している。提案としては22ページの左下に示してある案の中で、これまでは「豊かな自然と活力ある都市が調和した安心で快適な山県の住みよいまちづくり」とあったが、従来の基本理念1本での議論の方がスムーズであるとも思う。10年前は大変長くすべてのものが網羅された基本理念が設定されていた。それが現在も残っているが、この文を新たな基本理念に見直し、この計画の冒頭に置くと考えたほうが議論しやすいと思う。22ページに提案させていただいている中では、文言は決定でなくて良いが、A案の従来通りの基本理念1本で目指す姿を位置付ける形がわかりやすいと思う。

文言については、23ページに前回議論した形跡を示している。前回の議論の中で検討するのであれば、黄色の矢印下にある①、②、③を参考にしながらご検討いただければよろしいかと思う。

【委員】

今回基本理念は変わっているのか。そこを説明してもらいたい。以前は「安らかで」とあったが、これが良くないという意見が出た。

【ジャパン総研】

「安らかで」についてはご指摘のとおり、基本理念及び本文の基本目標の「健やかで安らかなまちづくり」についても「健やかで安心な」という形に置き換えている。「安らか」は基本的に「安心」に置き換え掲載している。

【委員】

22ページのA案からC案は、基本理念について表し、23ページの候補案は、めざす将来の姿について表すということか。

【会長】

まずはA案からC案の中で、基本理念と将来像について選ぶということである。C案はまったく違うものという理解でよろしいか。A案は理念を変えて1つにするということである。B案は従来のものを変えながら、将来像は新しく付け加えるということである。

【事務局】

そうである。

【会長】

23 ページのものが将来像に対する候補と考えれば良いか。C案は理念も将来像も新たに考えたということか。

【事務局】

前回めざす姿でいただいていた意見を理念に持っていき、将来像は新たな提案をさせていただいた。

【委員】

いずれにしても「水と緑」という言葉がたくさん出てくる。

【ジャパン総研】

前回の議論で「水と緑」を推す声をたくさんいただいた。東海環状道の開通もあるため、都市宣言と全く同じではなく、経済、活気の強調も必要だというご意見もいただいた。それらを合わせ、言い回しをいろいろと変え、提案させていただいた。

【事務局】

23 ページの⑤は都市宣言の原文そのままである。それを中心にというご意見も前回いただいた。

【会長】

それを少し変えて①、②、③としたということか。

【事務局】

そうである。

この部分については、第1次総合計画の理念をそのまま引き継いでいく考えがある。ただ委員さんの中には、安らかで、快適で、ホッとするような言葉は確かに良いが、もう少し東海環状を踏まえた元気ある言葉が良いのではないかというご意見もあった。それを踏まえ「安らか」を「安心」とした。基本理念はそのようにしながら、めざす姿をどうするかということを中心に議論いただいた。「安らか」よりも市民が夢と希望を持てるようなまちにしたいという思いもある。個人的な意見ではあるが、まず元気ある山県市を目指していく、そしてその9年後には夢と希望をもって安心して暮らせるようなまちになっているという将来像が見えてくると良いと思った。基本理念と将来像を考えた場合に混乱するようであれば、1本にまとめた方が良い。

【委員】

22 ページの3案について、A案の基本構想の中に「水と緑を大切に 人と経済が元気あるまち」がすべてを網羅しているように思う。改めて将来像について考える必要があるのかと思

う。

【会長】

ご意見をいただきたいと思う。

まず基本理念と将来像を1つにした方が良いのか、2つの方が良いのかを議論したい。

【委員】

基本理念は基本理念であるし、将来像も必要であると思う。

【委員】

一つでいいのではないか。その理由は、基本理念は上にあり、将来の姿はあくまでも基本理念の下にあると思う。それであれば基本理念を掲げておけば、将来の姿も基本理念の中にあると思う。

【委員】

第1次計画の時には、基本理念だけであったのか。

【事務局】

そうである。

【委員】

そうであれば二つも必要ないのではないか。

【委員】

「安らか」がなくなって良かったと思う。「水と緑を大切に 人と経済が活気あるまち」は「人と経済が活気あるまち」という言葉に違和感がある。別の表現が良いと思う。C案の「将来像 人と未来をつなぐ山縣市」は良いと思うが、将来像が漠然としている。

【会長】

二つあった方が良いという意見か。

【委員】

そうではなく、二つ出す必要はないと思う。

【委員】

第1章の「まちづくりの理念とめざす将来の姿」が変わってくるのではないか。

【事務局】

もちろん変わってくる。

【委員】

「土地利用構想」で「商業地域」が追加されたことを考えると、「人と経済が活気あるまち」という表現は良いと思う。

【会長】

確かに「人と経済」は入れたい。

【委員】

「夢と希望」を入れてもらいたい。

【会長】

基本理念と将来像について、もう少し意見をいただきたい。

【委員】

候補がいくつかあると考えがまとまらない。めざす姿、将来像、基本理念、それぞれにどのような違いがあるのか。「人と経済が活気ある」という表現は気になるところである。C案の「未来につながる」ということは重要であると思うが、「人とまちにつながる」という表現はイメージがわからない。

【委員】

A案は山口市だけでなく多くの自治体で使われている表現だと思う。おそらく山口市と同等規模の市町が目指すところだと思う。非常に難しいが、水と緑を大切にすることが山口市の将来像にとって大切なことである。基本理念のみで考えた方が良いと思う。

【委員】

A案、B案、C案が難しければ、候補案の⑤をそのまま使ってはどうか。

【委員】

基本理念の言葉ですべてが網羅されていると思ったが、漠然として姿が見えてこない。初めて読んだとき、「水と緑」が山口市の象徴だと思った。これに「経済が活気ある」という言葉も付け加えたい。

【事務局】

今回は基本理念のみと暫定的な言い方をしたが、15ページのまちづくりの表の中に、「めざす将来の姿」があり、その中に「基本理念」がある。「めざす将来の姿」は、基本理念、計画の愛称、まちづくりのテーマ、計画推進の視点という構成になっていた。行政を進めていく中で、まちづくりのテーマや計画推進の視点については、あまり意識していなかった。基本理念だけで考えるのであれば、タイトルも基本理念のみとするのか、または基本理念及び将来の姿で1本とするのかのご意見をいただきたい。今回は基本理念の中に将来像を含んでいたため、複雑になってしまった。

【会長】

ご意見はあるか。

【委員】

大変難しい。

【会長】

基本理念1つにするか将来像を合わせ2つにするのかについて、ご意見を伺いたい。

【委員】

1つで良い。山口市は自然が豊かで「水と緑を大切に」が良いと思う。「経済」という言葉も他の委員が言われるように考えても良いと思う。

【委員】

1本がスマートで良い。都市宣言の中はすべていいところを取っていると思う。「活気」というよりも「活力」の方が力を感じられて良い。

【委員】

「活力」には「力」という字が入っている。

【委員】

「活気」は気持ちだけで力を感じない。都市宣言をそのまま使うことはどうか。

【委員】

基本理念は山口市が第1次、第2次、第3次になっても、置いておくべき重要なものである。第1次を引き継ぎ、「安らか」が「安心」と変わったが、「豊かな自然と活力ある都市が調和した」を基本理念としたい。第2次では、これからめざす姿ということでご意見が出ている「水と緑を大切に 人と経済の活力あるまち山口市」を提案したい。これからの未来を含むことができる。

【委員】

過去があつての山口市ということを考えると、以前のを消してしまうのはもったいない。

【委員】

③「人と経済の活力ある山口市」が良いと思う。「経済」を将来の姿に入れたいという思いがある。山口市の発展を思うと、経済の発展なくしてはめざす姿が見えてこない。

【委員】

「商業地域」を加えたこともあり、経済は大事である。

【事務局】

新たに置き換えるか前回のを踏襲するかである。あくまでも第1次の基本理念である。都市宣言は変わらずに続いていくだろうが、計画は前回10年、今回10年の中を象徴するものである。これを引き続き残すのか、新たなものにするのかご意見が分かれている。

【会長】

1次を10年スパンで考えているため、その中の基本理念であれば変えてもいいと思っている。

【委員】

山県市民憲章がある。この市民憲章は変わることがないと思っている。A案は市民憲章に含まれている内容だと思う。これでいいのではないか。

【事務局】

市民憲章を網羅したものが第1次の理念だと思う。

【委員】

第2次計画は3月議会で正式に上程するのか。

【事務局】

12月に中間報告を行う予定である。

【会長】

その時に出てくる資料は基本構想か。

【事務局】

そうである。本日議論いただき、もう少し絞り込んだものを提出したいと考えている。

基本理念があり、めざす将来の姿がある。現在は指標や目標をあげ、どのように検証したのかが求められる。理念は抽象的でも目指すべき姿は具体的なものが良い。

【会長】

いろいろな意見が出たが、次の「3 基本計画について」説明をいただきたい。

【事務局】

このまま何も施策を投じなければ人口が26,515人と推計される。その推計人口に対し1,000人を上乗せするのか、5%程度を上乗せするのかの問題提起である。個人的に1,000人で良いのか疑問であり、皆さんのご意見を伺いたい。

【会長】

定住人口の推計は約26,000人である。5%上乗せで良いと思う。

【委員】

第1次計画で平成26年度の人口が約3万人で、現在は約28,000人ということである。その間外国人の住民登録があった。それがなければ約27,000人台だと考える。そうすると計画に対して2,500人ほど少ないということになる。

【事務局】

当時も外国人を含んでいる。

【委員】

どちらにしても、2,000人ほど目標より少ないが、人口が減るということが果たしてダメなのかどうなのかという問題がある。人口減少社会の中であって、減るスピードを緩やかにすることが本当に大切なことなのかどうか伺いたい。

【事務局】

主観的意見になるが、階層別の人口だと思っている。高齢化率や少子化率の方が実際は重要だと思っている。今のままでいくと平成35年には約26,000人、高齢化率が3割を超える。人口を増やすことが目的ではないが、少子化に歯止めをかけたい思いがある。やみくもに30,000人以上を増やした方がいいのかもしれない。しかしそのために無駄になる施設を作っているのかという疑問もある。必ずしも人口増加が良いことではない。フレームであるため、ある程度の人口を見据えた長期計画を作っていかなければならない。活力あるまちにするためには、多少の人口増加を想定していかなければならないと思っている。

【委員】

その通りだと思う。今、どの階層の人口を増やすのか。子どもを増やすのであれば、教育施設の充実が必要である。各階層を増やすための具体的施策はあるのか。

【事務局】

具体的な施策はない。

【会長】

計画の中には努力するという記述はしてある。

【委員】

北山地区の高齢化率、要介護率を見ると、元気な高齢者が多いことがわかる。そこが山県市の特徴だと思う。経済的な活力を考えると人口増加も重要なことだが、山県市のカラーを出すのであれば高齢化率が高くてもマイナスイメージがないことだと思う。そこを見ると福祉の部分も見えてくる。介護予防などにも目を向けるといいのではないか。

【委員】

伊自良の北地区である。高齢化が進み、若い人が定住しない。若い人が定住するようにできれば、他の土地から人を呼ばなくても良い。

【委員】

元気な方が多いということは、介護の必要がないため子ども、孫世代は帰ってこない。したがって人口増加につながらないということになる。元気がない高齢者は外に出ざるを得ない。元気で過ごしていただくことが重要である。

【委員】

目標人口は 27,800 人で良いと思う。

【委員】

それはそれで良いと思う。人が減っていくことは寂しいが、必ずしも増えることが良いとは限らない。27,800 人が適正であれば、それで良いと思う。

【事務局】

考え方としては、減らないようにという考え方は取りたくない。推定でこれだけの減少率だが、それを増やす方向へと持っていきたい。

【委員】

現在の数字が基本である。推計人口も必要であるが、減少する場合の人口も併記していただきたい。

【事務局】

第1次計画では総人口、世帯数、人口構成を載せていた。計画策定時の直近、過去2回の国勢調査から将来の数字を出している。今回は検討資料ではなく、将来像を見据え計画を策定していくものである。前回とはかなりイメージが違っている。

【委員】

一般の方が見ると誤解しやすい。現実には減っていくと思うが、そのことがどこにも書かれていない。

【事務局】

25 ページのグラフを見ていただくと一目瞭然である。

【委員】

現在の人口に5%上乗せするよりも、少しあいまいにした方が良いのではないか。24 ページの書き方が基本的ということか。

【事務局】

そうである。検討資料ではない。

先ほど元気な高齢者の話が出た。昨日、「地域おこし協力隊」の発表会があり、北山地区のお年寄りが元気で驚かされたという話を聞いた。北山地区に限らず高齢化の中であって、健康寿命を延ばすことを市長は意識している。もう一つは少子化で力を入れていることは、定着率、移住率に加え「合計特殊出生率」を高くすることである。県内 42 市町村中で山県市の合計特殊出生率は 1.2% で一番低い。出生率を高めることも重要と認識していただきたいと思っている。

【委員】

合計特殊出生率の話であるが、先日 20 府県ほどが目標数値を出した。

【事務局】

本日、地方創生法案が通り、岐阜県も水面下で調整中である。

【委員】

沖縄の目標値が 2.3 である。福井県も高かったと思う。

【事務局】

福井県は高い。3 世代同居が多く共働き率が高いためと分析されている。福井県は女性の労働力率を表す M 字カーブが少ない県で有名である。

【会長】

人口の減少を食い止めるという表現があるが、いろいろなことがリンクしているため人口のことだけを語るだけでは解決しない。例えば、若い人を増やすためには雇用の場を設け、生活コストを引き下げたうえで、山県市が若い人たちに受け入れなければならない。高齢者の一番の問題は、高齢者が将来に対する不安を抱えていることである。国民年金の 6 万円でグループホームや施設にも入れない問題をどうするかなど、たくさん問題がある。いろいろな角度から考えなければならない問題である。人口減少を食い止めると言言える問題ではない。

【事務局】

おっしゃるとおりで、人口減少を食い止めることが問題ではない。住みよいまちづくりを進めることにより、結果として人口が増える、減らない、ということだと考えている。

【会長】

では人口計画については、この形によろしいか。次は「土地利用構想」についてである。1 の「中心的市街地」と「その他の地区拠点」についての文言だが、これによろしいか。どのように捉えれば良いのか。

「中心的市街地」と「その他の地区拠点」とあるが、ここではどのようなことを考えているのか。中心的市街地と地区拠点との交通体系を図るということか。

【事務局】

土地を利用するにはネットワークが必要になってくるという理由からである。

【会長】

土地利用に交通体系を載せることには違和感がある。

【事務局】

ご指摘の内容をふまえて修正する。また、「その他の地区拠点」の「その他」を削除する。

【委員】

第1次とは基本計画の順番が変わっていると思う。

【事務局】

変えているが、まだ整理中である。変えていきたいという案である。

【委員】

基本目標も変えたいという意味なのか、計画すべてを変えたいという意味のどちらか。

【事務局】

計画すべてである。基本目標を基本理念に合わせて変えることも視野に入れていただきたい。基本理念が決まっていないので、前回と同じ内容になっている。

【会長】

基本理念については、本日結論を出したいと思う。

【委員】

以前の計画には「文化」という文言が入っていたと思うが、今回は抜けているのか。

【事務局】

前回も入っていない。市民憲章には入っている。

【会長】

では、最初の議論に戻る。まず基本理念だけにするのか、そこへ将来像をつけるのかについて、ご意見をいただきたい。

【委員】

候補案としては④番でいくのか。

【事務局】

そうである。

【委員】

いくつかあったが、その中で⑤番を押ししたい。

【会長】

まず基本理念と将来像を1つにするか、2つに分けるのかについての議論をいただきたい。

【委員】

2つにした方が良い。

【会長】

「ステップアップ」という愛称が入っていたと思う。

【ジャパン総研】

2本にする場合は「水と緑を大切に 人と経済の活気あるまち 山口市」が基本理念のような大きな視点になると思う。将来像は東海環状がつながることも考え、「山県 つなげるプラン」、サブタイトルとして「夢」や「希望」などをつけるとまとまるのではないかというのは

いかがか。今までと大きく変わってしまうのが。

【委員】

「愛」と「夢」という言葉が入っていれば満足である。

【事務局】

基本理念の文章内でその点について触れるということで検討したい。

【委員】

理念と将来像の2つを考えた方が良いと思う。

【委員】

私は1つで良いと思う。できるだけ全体としてすっきりさせたい。

【委員】

理念は抽象的であり、めざす将来像は具体的である。将来像としては具体的な案を出した方が良い。したがって2つ考えた方が良いと思う。

【委員】

やはり2つが良い。基本理念に対して具体的なものを入れることは適切でないと思う。それと具体的な将来像を考えた方が良い。その方がより具体的な計画を立てやすい。

【会長】

では結論を出したい。理念と将来像をそれぞれ掲げた方が良いというご意見でよろしいか。B案とC案があるが、少し内容を変えた方が良いというご意見があれば伺いたい。

【事務局】

基本理念から決めていただきたいと思うがいかがか。

【会長】

では、基本理念は前回を踏襲するか、それとも今回変えた方が良いかについて、ご意見をいただきたい。

【委員】

「安心で快適な山県」の「山県」は必要ないのではないか。

【委員】

「山県」は後ろに持ってきた方が良い。

【委員】

「人」は全てを網羅しているのではないか。

【会長】

基本理念について結論を出したい。以前のものを踏襲しつつ、変えた方が良い部分は変えていくということでいかがか。よろしいか。

続いて将来像についてご意見をいただきたい。23 ページにある①と⑤について、先回議論いただいた。

【委員】

前回のままで良いのではないか。

【会長】

2案あるので、どちらが良いかということである。

【委員】

①と⑤のどちらかを選択するということか。

【事務局】

前は①と⑤でご意見が分かれた。⑤については「経済」を入れていただきたいという意見があったので、設置案として下にある1、2、3の3つの案を提案いただいた。

【委員】

③の「水と緑を大切に 文化と経済の活気あるまち 山口市」は文化が入っているので良いと思う。

【事務局】

いろいろな思いがあると思うが、できれば説明文へ「夢」や「文化」などの言葉を入れながら対応させていただきたい。①と⑤に絞り込んで考えていただきたい。

【会長】

①と⑤で採決を取りたい。⑤に決定し、⑤の中の1、2、3を検討していただきたい。

【委員】

⑤の中に「経済」も「産業」も入っている。

【会長】

⑤はそのまま、説明文で内容説明をしてもらえば良いのではないかというご意見が出た。いかがか。

【委員】

それでよいと思う。あとは「経済」を文章に入れてもらえれば良い。

【委員】

第2次計画の中で「新しいもの」がまったくなくなってしまう。過去に作られたものばかりになってしまう。都市宣言も過去に作られたものなのか。

【事務局】

都市宣言は、昨年で作られたものである。

【委員】

都市宣言が新しいものだとは知らなかった。失礼した。

【会長】

⑤を将来像の形としてよろしいか。

では、この形で議会に提出していただく。最終事案はまだ変更があるかもしれないが、決定案とさせていただきます。

【事務局】

基本理念に決定した案についてだが、「山口市」を削った方がよろしいか。基本理念は「山口市」を取った形のもの⑤については事務局側で再考したものを議会へ提出する。24 ペー

ジの人口について、年代別人口の内訳を載せた方が良いかどうかについては検討中として議会提出することをご了承いただきたい。

【会長】

その他ご意見はあるか。

【事務局】

基本計画についてである。次回は基本構想について決定していただき、年明けにパブリックコメントを実施予定である。基本計画についても議論していただきたいと考えている。4ページについて、担当課の部分を削除するか主管課を載せるか検討中である。「主な数値目標」は「主な」を削除する。次回は構想を決定させるとともに、計画についても議論いただきたいと思っている。よろしくをお願いしたい。

【会長】

30、31 ページと順番が変わってくるという理解でよろしいか。

【事務局】

そうである。

【委員】

基本計画の中に第1章から第6章までであるが、全体の体系図を載せていただきたい。

【事務局】

次回は12月中、若しくは年明け早々の開催を予定している。決定次第ご連絡する。

【会長】

大変長い時間、ありがとうございました。

閉会